

スポーツ玉入れ

1. 「スポーツ玉入れ」って？

スポーツ玉入れは全てのボールをバスケット（かご）に入れるまでの時間を競うタイムトライアルスポーツです。

全日本玉入れ協会が主催する「全日本玉入れ」では4～6人の選手が合計100個のボール（アジャタボール99個+アンカーボール1個）をバスケットに入れるまでの時間を競います。



2. スポーツ玉入れのルール

今回は柴田町行政区対抗玉入れ大会の競技ルールの一部をご紹介します。



直径6mの円の中心にバスケットを置き、円の中にあるボールを全部投げ入れ、最後にアンカーボール（黒い大きな玉）を入れるまでの時間を競います。

制限時間は1分

制限時間内に入りきらない場合は、残数を数えます。

- ①スタートはフライング防止のため選手は円の外に立ち、バスケットに背を向け、円内に全てのボールがあることが確認されてから、試合開始とします。
- ②競技開始前、20秒間でボールを自由な位置に設置できますが、ボールは必ず円内に全てあるようにします。
- ③アジャタボールを先に全部入れ、アンカーボールは1番最後に入れること。アンカーボールをアジャタボールより先に入れると失格となります。
- ④棒などの道具や肩車・馬乗りなどによる投球は失格となります。
- ⑤同タイム・残玉も同じ場合はジャンケンで勝敗を決めます。

2. 参考資料

全日本玉入れ協会 「全日本玉入れとは」

<https://ajta.jp/about>